

# 宮の森



発行元・白鳥神社総代会

## 伊勢神宮大麻



伊勢神宮は全国の神社を統括する神社本庁である。此処には日本人のルーツである天照大御神が祀られていて、先祖崇拝のシンボルとされている。その天照大御神のお札の事を伊勢神宮大麻と呼んでいる。

なぜタイムなのかな？

大麻は神社においては穢れを祓う植物として大切にされて来た。しめ縄、鈴紐、神官の衣類等は総て麻で造られて来た。戦前までは農家でも栽培され、大麻を神の依り代として神棚にお祀りした。その麻を和紙で包んだものを大麻と言ひ、神札として、伊勢神宮の御師が全国を回り領布した。それは、お祓いを受けた印であり、守り神として、各家庭に届くようになった。現に白鳥でも栽培されていた。麻から強い麻糸が出来、丈夫な繊維衣料が作られていた。

(1) 今でも、当時使われた麻を蒸す大きな桶釜が、白山博

物館に保存されている。昨今、麻の栽培許可が難しく、ほとんど生産されていない。高価な輸入品に依存状態だと聞く。従って今は麻の代わりに、紙でお札を作り、それが大麻とされている。

一年に日本で頒布される大麻は、11888万本といわれ、如何に大きな神社であるかが解る。白鳥神社では毎年5800本程を氏子の皆様にお求め戴いている。

神棚での祀り方は中央に伊勢神宮大麻、右に白鳥神社(産土の神)、左に近隣の崇拝する神様、と言つのが正しい祀り方です。我々の守り神とも言える伊勢神宮大麻です。日々、一礼一拍手一礼したいものです。

## 令和の元旦・歳旦祭



昨年十二月十五日と三十一日に総代衆で迎春準備。新人の総代さんも先輩について、伝統の作業を覚えながら、懸命にやっていたできました。門松作りは、北條、瀬上博、両監査役が中心に、玄人はだしの出来栄えに、来年は神社で売り出そうか！と言う完成度。雪がなく、除雪の代わりに、落ち葉掃きが大事な仕事でした。

元旦の朝、今年も大鳥居の肩から、清々しいご来光！



令和万歳！新しい御代に光明を感じた。九時から拝殿で歳旦祭。箏曲「春の海」が境内に流れる中、

宮司の祝詞が、今年の弥栄を謳つ。徹夜で頑張り、多くの参拝のお客様と新年の賀詞が交わせる事が喜びである。拝顔の上、今年も相変わらずよろしく、と言つ月並みの言葉が、マメで生きている証として、実に新鮮であった。歳旦祭に御奉納賜りました方々(失礼乍ら敬称略)

▼白鳥神社へ(お神酒) 〳西村石材・野崎鉄工・渡辺幹

男・野々村清・澤崎商店・荒井新聞店・蓑島稔・白鳥自治会・白山電機・鈴木昇・榎東建設・中村歯科・荒井吉夫・炭屋・かがや・みほ美容室・白鳥薬局・山吹・丸栄造園・石神藤徳・原酒造場・榎とおやま▼稲荷神社へ〳澤崎商店・かがや・白鳥薬局・原酒造場 ▼秋葉神社へ〳白鳥薬局・原酒造場、▼(玉串料) 〳曾我金一・清水久紀・曾我喜代。誠に有難うございました。



## 令和初の伊勢参り



御代替わりして、新天皇も、安倍総理も参拝。岐阜県神社庁郡上支部百九十余名もバスに分乗して一月八日、九日と御垣内に入り、心新たに参拝して来ました。

白鳥部会は白鳥神社、為真白山神社、大島稻荷神社、中津屋白山神社、中津屋八幡神社で計二十八名、その内、白鳥は十一名が参加しました。

今年の参拝は、初日が鈴鹿の椿大社、伊勢神宮に来て外宮、内宮、二日目は京都に入り、上賀茂神社だった。椿大社の主神は猿田彦大神。国土を守る導きの神。交通安全のお札は多く目にする。猿田彦の奥さんが天の細女の命で天照が天岩戸に隠れた時、岩戸の前で全裸で踊り、天照を引き出した日本初のストリップダンサー。故に芸

...

(2) 能の神として有名で、多くの芸能人が参拝しています。

伊勢神宮は令和初で大混雑かと思っただが左程の事はなかった。外宮、内宮共に御垣内に入り型通りの参拝。

その後、希望者で神楽殿参拝を行う。上段にある神楽板の間は広々としてシンプルで美しい。宮司のお祓いが終わると四人の巫女による神饌神事は流れるような動きに見とれる。秋祭りにやる、我々年寄りによる、ヨレヨレ神饌とは雲泥。今年からは巫女にやらせよう！

祝詞奏上が終わると巫女の倭舞い、続いて神官による人長舞いが美しくも力強い。その後、参拝者の御祈禱があり、鮮やかな巫女の撒饌で終わる。平安絵巻だ。ここで見ると神の存在が身近に感じる。巫女は二十人程いて、高校卒業後五年奉仕するとの事。美人揃い。

一日目は新名神経由で京都に入り、嵐山、桂川の畔で昼食。自由散策は、渡月橋を渡り、法輪寺を参拝。ここは清少納言の『枕草子』に出て来る古刹である。虚空蔵菩薩が祀られていて知恵を授かるとかで孫達にと御守札を所望。続いて上賀茂神社を参拝。京都で最古の神社として世界遺産になつている。春の平安絵巻、葵祭の舞台である。上賀茂は長岡京の鬼門に当たり、そこを清める為にと大きな三角錐の砂が一対置かれている。



鬼門に砂を置くのはこれが始まりとされる。帰りの車中はお酒とカラオケ三昧、全てに充実した初詣ではなかったかと・・・。

### 祈年祭・初午祭



コロナ問題で各種イベントは中止方向だ。役員でいろいろ協議した結果、大切な神事を止める訳にはゆかない、規模を縮小して挙行。例年だと五十数名だが今年は約半数に絞った。

祈年祭・初午祭はその年の豊作の祈願祭である。秋の新嘗祭は豊作にお礼をする感謝祭であり、二つは対を成している。幸い拝殿は風通しは良い。今、世間にはマスクがない。何とか調達して、マスクをして来なかった人に無償提供した。又、手水場ではタオルを撤去して、代わりにテッシュペーパーを置いた。せめてもの出来る防衛策を講じた。宮司はコロナ鎮静化を祝詞に読み込まれた。異例のお願いである。その上での豊作を！と。神よ、この心意気をお汲み取り下され！間違っても、この地からは感染者を出さないように！引き続き、令和御大典記念の玉垣建立工事の地鎮祭も執り行った。近々着工します。

### 新年度総代陣容

この二月で左記、八名の総代が交代されました。  
山下 修様、野々村近則様、正者郁朗様、荒井義隆様。  
森 正明様、正者美昭様、田中幸光様、清水万亀男様。  
長きに渡り、白鳥神社に對しまして、心のこもったご支援、ご協力、誠に有難うございました。

四月からは左記の陣容で護持運営に当たります。  
変わらぬご支援、ご協力を宜しく申し上げます。

- 一号組……………原 元文
- 一号組……………小林宏樹
- 二号組……………古家孝一
- 四号組……………曾我幸男

### 御寄進・ご奉仕

- 一、大神楽役者の藁草履白足……………二輪英一様
- 一、篝火用新作り……………曾我幸男・正者憲次様
- 一、本殿両脇灯笼明窓枠制作他……………足立好教様
- 一、同ソーラー電気取付工事……………足立好教様
- 一、神社写真定期展示担当……………曾我 誠様
- 一、祈年祭時のマスク提供配布……………二輪規裕様
- 一、花壇雑草取り……………清水妙子様

### 令和二年四月からの主な行事予定

- 4/1……………宮の森22号発行
- 4/3……………防火祈願祭／秋葉神社
- 4/5……………初宮神事・新旧総代歓送迎会
- 4/12……………宮掃除・井普請
- 5/3……………稻荷神社例祭神事
- 6/3……………自治会・総代会二役会議
- 6/28……………宮掃除
- 7/19……………境内・秋葉神社草刈り清掃
- 7/21……………秋の例祭打合せ会議／神楽幹部・総代二役
- 7/26……………初宮神事

### 御朱印受付

ご希望の方は0575-82-4387 瀬上まで (文責・瀬木)